

# 久留米市地場企業景況調査レポート(平成25年10月～12月期調査分)

## <調査目的>

久留米市内地場企業の景況及び経営動向を把握し、今後の経営改善普及事業に資するとともに、これらの情報の集計結果を事業所へ提供し、経営の参考にしていただくために調査する。

## <調査対象>

当所会員事業所を対象とし、建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業それぞれ120社ずつ、計600社を任意抽出して実施。

## <調査要領>

四半期ごとに調査用紙を郵送し、前年同月比や来期の予測について回答を求める。調査の集計は日商中小企業景況調査の集計方法に基づいた景気判断指数(DI値)で行う。

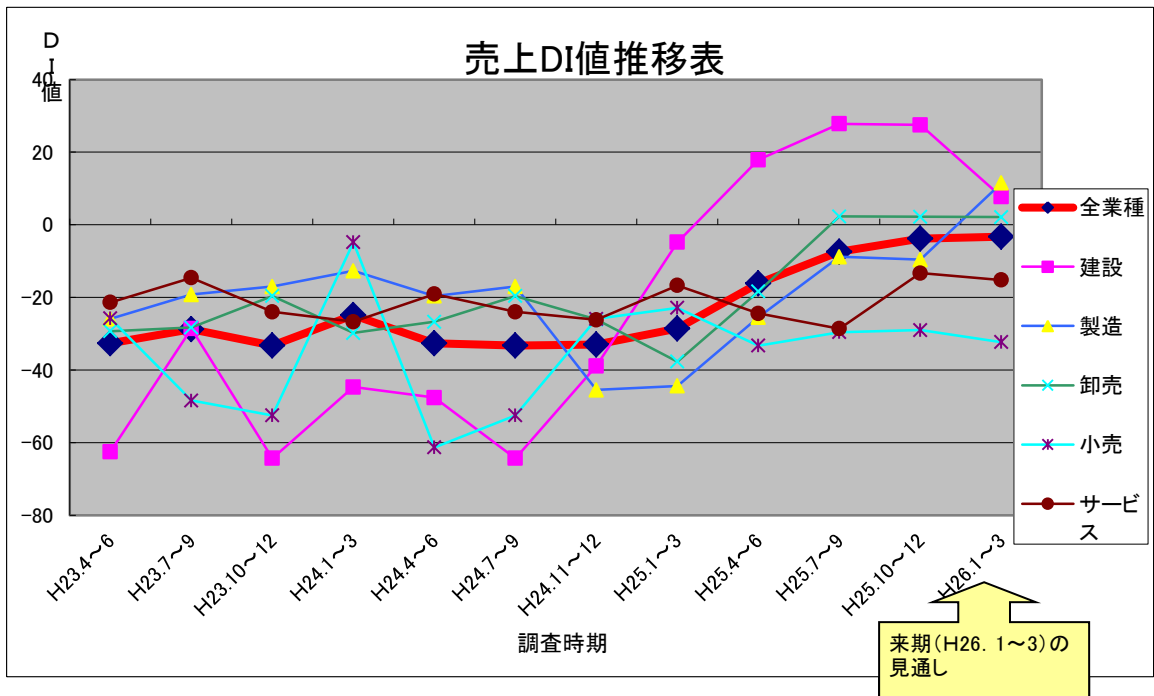
## <DI値とは>

DI(ディーアイ。Diffusion Index: 景気動向指数の略)値は、売上・採算・業況などの各項目についての、ヒアリング対象の判断の状況を表す数値。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答(「増加」や「好転」など)の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答(「減少」や「悪化」など)が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

## <平成25年10月～12月期調査分回収結果>

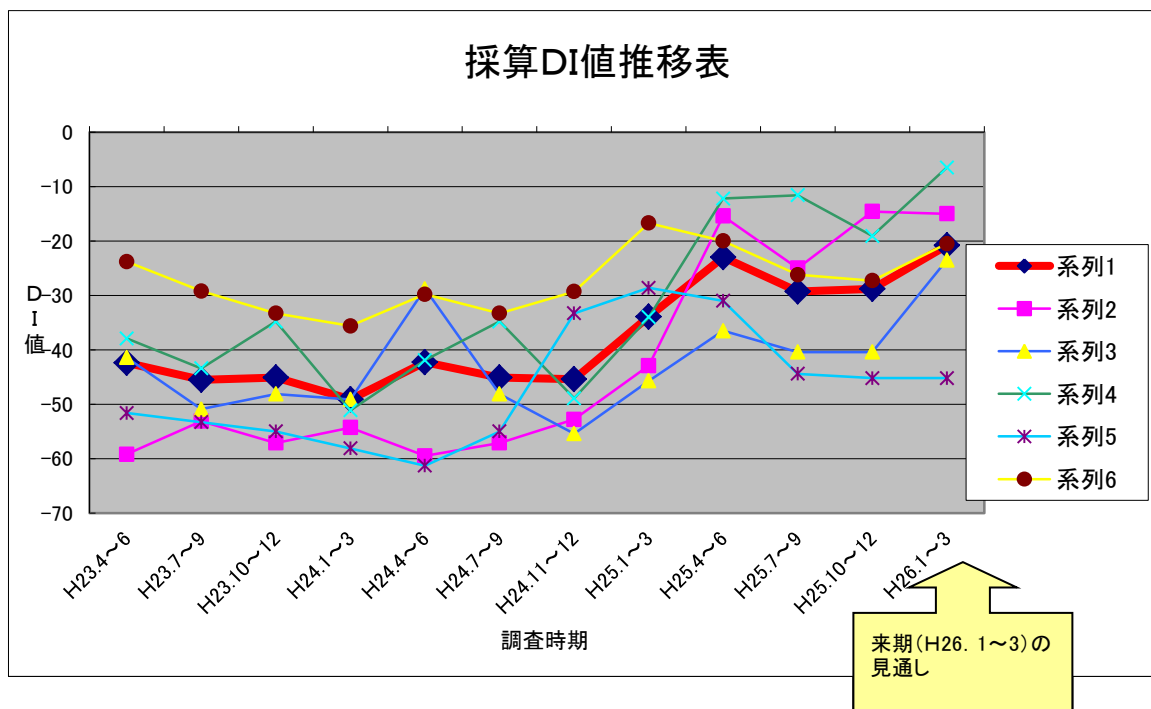
業種	対象事業所数	回答数	回答率
全業種	600	219	36.3%
建設業	120	41	35.0%
製造業	120	54	38.3%
卸売業	120	47	44.2%
小売業	120	31	29.2%
サービス業	120	46	35.0%



今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「売上面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は71社(前期比8社増)、「減少した」と回答した企業は79社(前期比1社増)、「横ばいである」と答えた企業は62社(前期比1社減)であった。DI値を見ると、▲3. 8となり、前期比で3. 6P好転した。

業種別に見ると、建設業27. 5(前期比0. 3P好転)、製造業▲9. 6(前期比0. 8P悪化)、卸売業2. 2(前期比0. 1P悪化)、小売業▲29. 0(前期比0. 6P好転)、サービス業▲13. 3(前期比15. 3P悪化)となった。

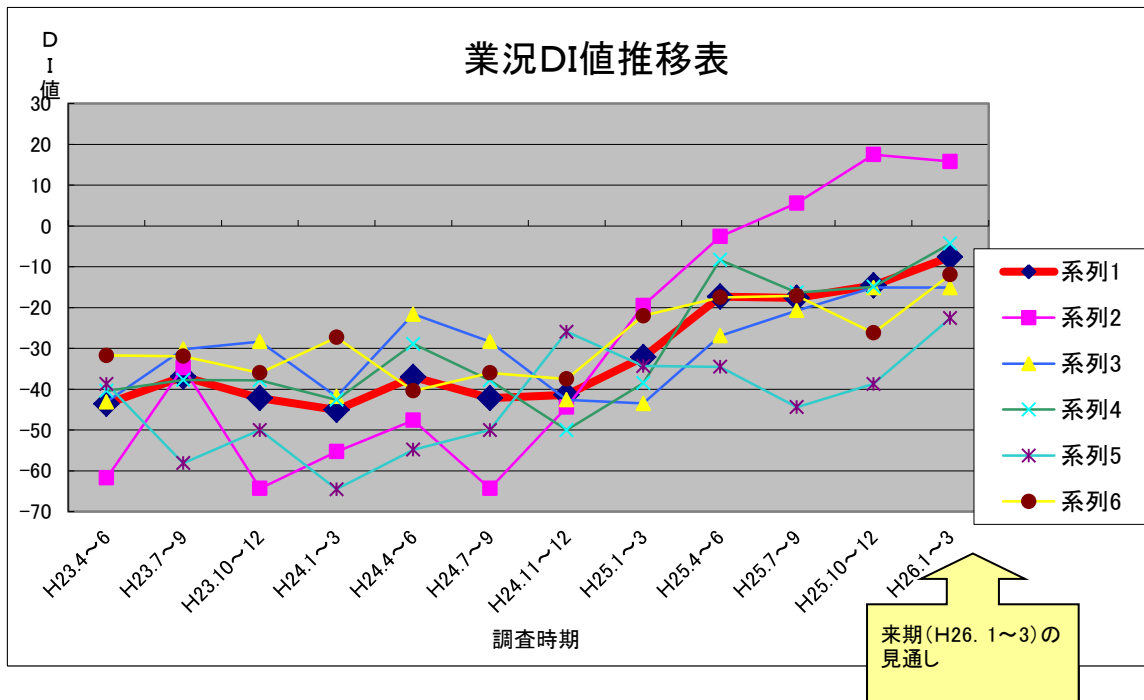
来期(H26. 1~3)の見通しでは全業種DI値は▲3. 3と0. 5P好転する見込み。



今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「採算面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は37社(前期比10社増)、「悪化した」と回答した企業は99社(前期比12社増)、「横ばいである」と答えた企業は79社(前期比12社減)であった。DI値を見ると、▲28. 8となり、前期比で0. 5P好転した。

業種別に見ると、建設業▲14. 6(前期比10. 4P好転)、製造業▲40. 4(前期比変わらず横ばい)、卸売業▲19. 1(前期比7. 5P悪化)、小売業▲45. 2(前期比0. 8P悪化)、サービス業▲27. 3(前期比1. 1P悪化)となった。

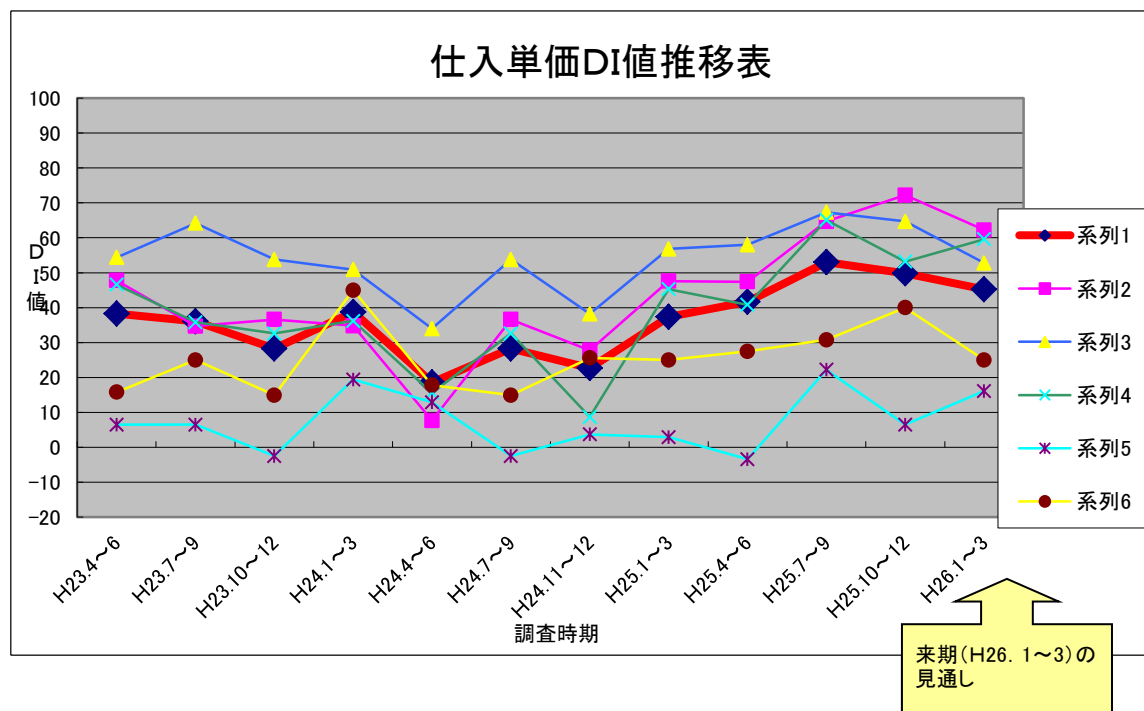
来期(H26. 1~3)の見通しでは全業種DI値は▲20. 8と8. 0P好転する見込み。



今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「業況面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は48社(前期比11社増)、「悪化した」と回答した企業は79社(前期比6社増)、「横ばいである」と答えた企業は86社(前期比9社減)であった。DI値を見ると、▲14. 6となり、前期比で3. 0P好転した。

業種別に見ると、建設業17. 5(前期比11. 9P好転)、製造業▲15. 1(前期比5. 6P好転)、卸売業▲14. 9(前期比1. 4P好転)、小売業▲38. 7(前期比5. 7P好転)、サービス業▲26. 2(前期比9. 1P悪化)となった。

来期(H26. 1~3)の見通しでは全業種DI値は▲7. 6と7. 0P好転する見込み。

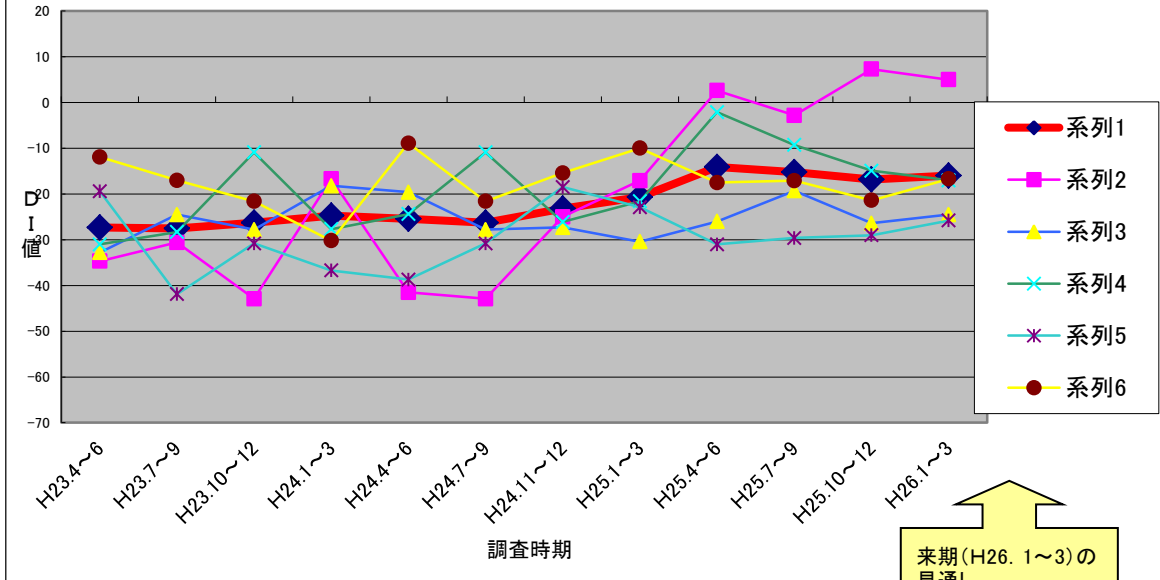


今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「仕入単価面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「上昇した」と回答した企業は113社(前期比2社減)、「低下した」と回答した企業は11社(前期比1社減)、「横ばいである」と答えた企業は81社(前期比8社増)であった。DI値を見ると、49. 8となり、前期比で3. 2P上昇した。

業種別に見ると、建設業72. 2(前期比7. 5P上昇)、製造業64. 7(前期比2. 6P低下)、卸売業53. 2(前期比11. 9P低下)、小売業6. 5(前期比15. 7P低下)、サービス業40. 0(前期比9. 2P上昇)となった。

来期(H26. 1~3)の見通しでは全業種DI値は45. 2と4. 6P低下する見込み。

### 資金繰りDI値推移表

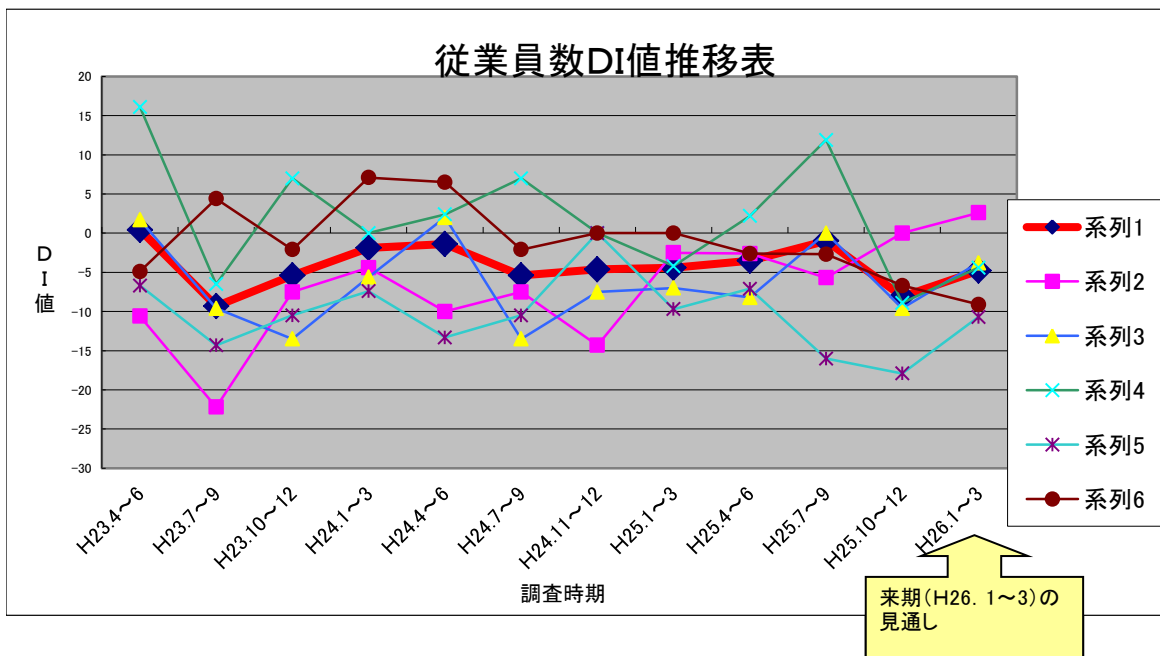


今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「資金繰り面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は21社(前期比10社増)、「悪化した」と回答した企業は57社(前期比15社増)、「横ばいである」と答えた企業は136社(前期比15社減)であった。DI値を見ると▲16. 8となり、前期比で1. 6P悪化した。

業種別に見ると、建設業7. 3(前期比10. 1P好転)、製造業▲26. 4(前期比7. 1P悪化)、卸売業▲14. 9(前期比5. 6P悪化)、小売業▲29. 0(前期比0. 6P好転)、サービス業▲21. 4(前期比4. 3P悪化)となった。

来期(H26. 1~3)の見通しでは全業種DI値は▲16. 0と0. 8P好転する見込み。

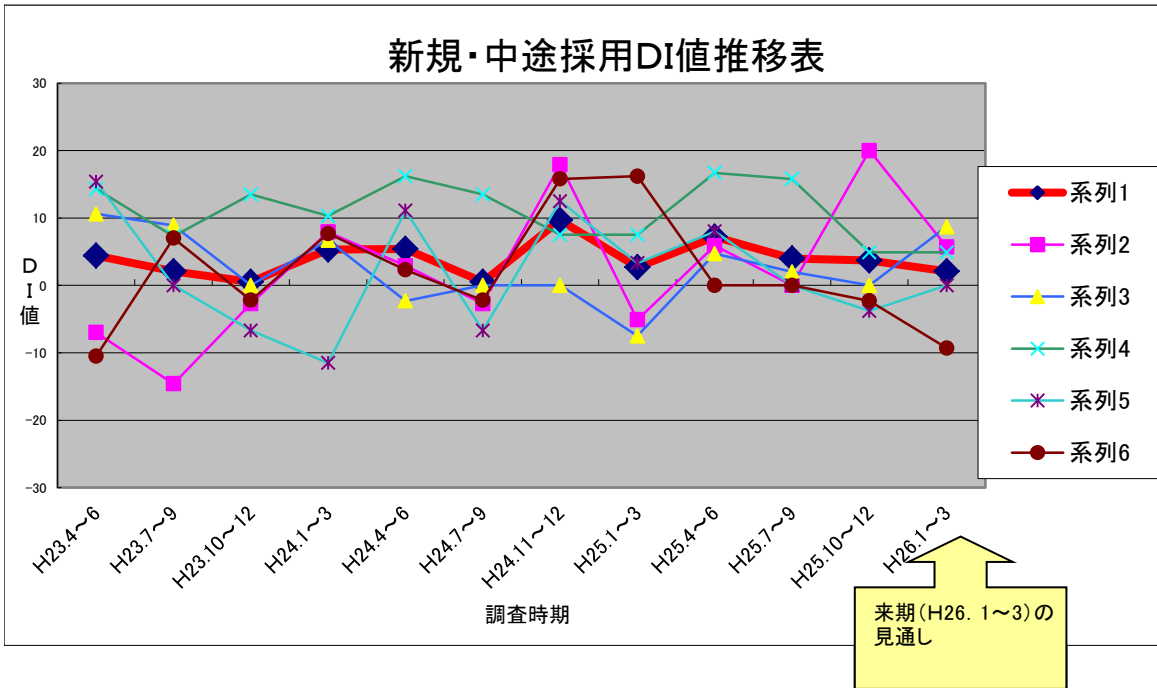
### 従業員数DI値推移表



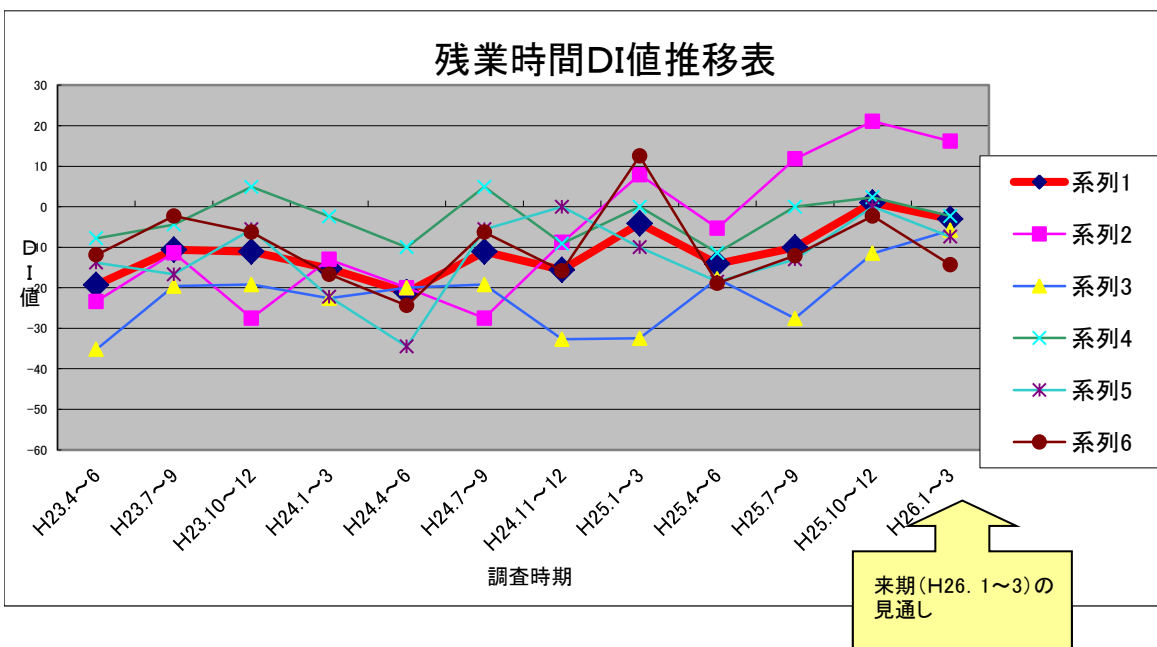
今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「従業員数面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は26社、「減少した」と回答した企業は43社、「横ばいである」と答えた企業は141社であった。DI値は▲8. 1となった。

業種別に見ると、建設業0. 0、製造業▲9. 6、卸売業▲8. 9、小売業▲17. 9、サービス業▲6. 7となった。

来期(H26. 1~3)の見通しでは、全業種DI値は▲8. 1となる見込み。業種別に見ると、建設業2. 6、製造業▲3. 8、卸売業▲4. 4、小売業▲10. 7、サービス業▲9. 1となる見込み。

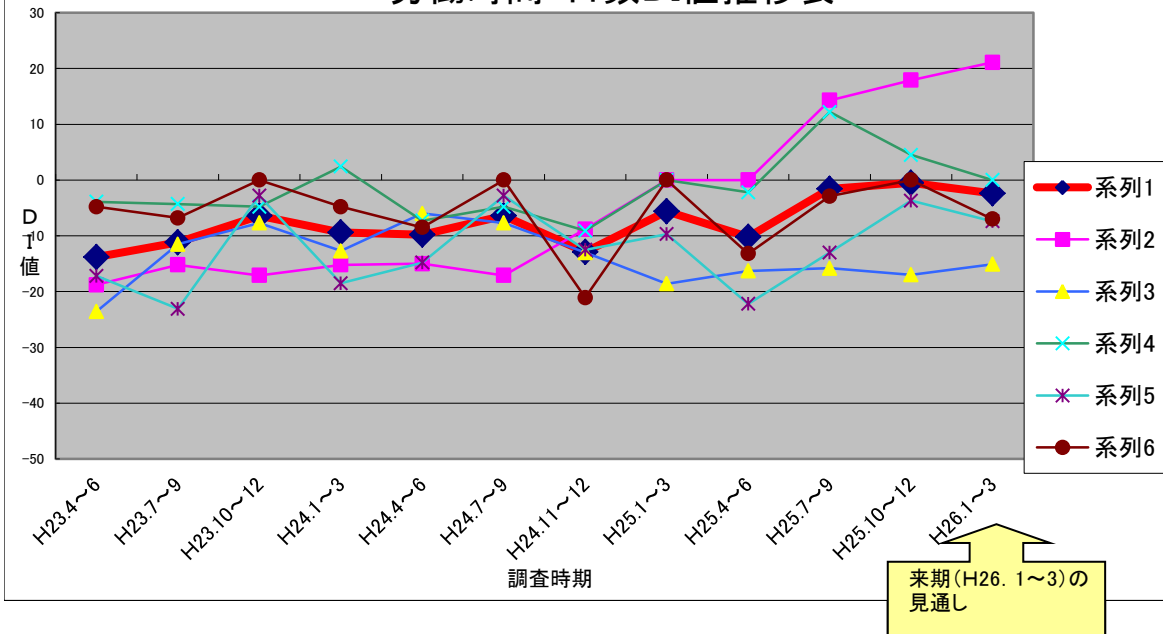


今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「新規・中途採用面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は27社、「減少した」と回答した企業は20社、「横ばいである」と答えた企業は144社であった。DI値は3.7となった。  
 業種別に見ると、建設業20.0、製造業0.0、卸売業4.9、小売業▲3.8、サービス業▲2.3となった。  
 来期(H26. 1~3)の見通しでは、全業種DI値は2.1となる見込み。業種別に見ると、建設業5.7、製造業8.7、卸売業4.9、小売業0.0、サービス業▲9.3となる見込み。



今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「残業時間面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は35社、「減少した」と回答した企業は33社、「横ばいである」と答えた企業は135社であった。DI値は1.0となった。  
 業種別に見ると、建設業21.1、製造業▲11.5、卸売業2.3、小売業0.0、サービス業▲2.3となった。  
 来期(H26. 1~3)の見通しでは、全業種DI値は▲3.0となる見込み。業種別に見ると、建設業16.2、製造業▲5.8、卸売業▲2.3、小売業▲7.4、サービス業▲14.3となる見込み。

### 労働時間・日数DI値推移表

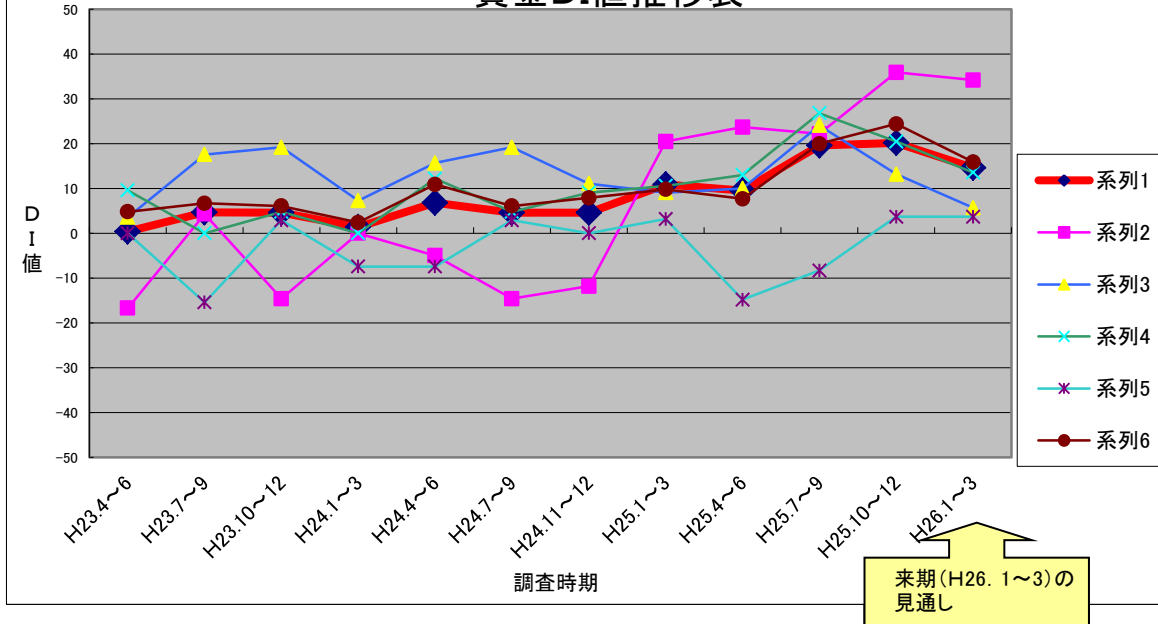


今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「労働時間・日数面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は24社、「減少した」と回答した企業は25社、「横ばいである」と答えた企業は159社であった。DI値は▲0. 5となった。

業種別に見ると、建設業17. 9、製造業▲17. 0、卸売業4. 5、小売業▲3. 7、サービス業0. 0となった。

来期(H26. 1~3)の見通しでは、全業種DI値は▲2. 4となる見込み。業種別に見ると、建設業21. 1、製造業▲15. 1、卸売業0. 0、小売業▲7. 4、サービス業▲7. 0となる見込み。

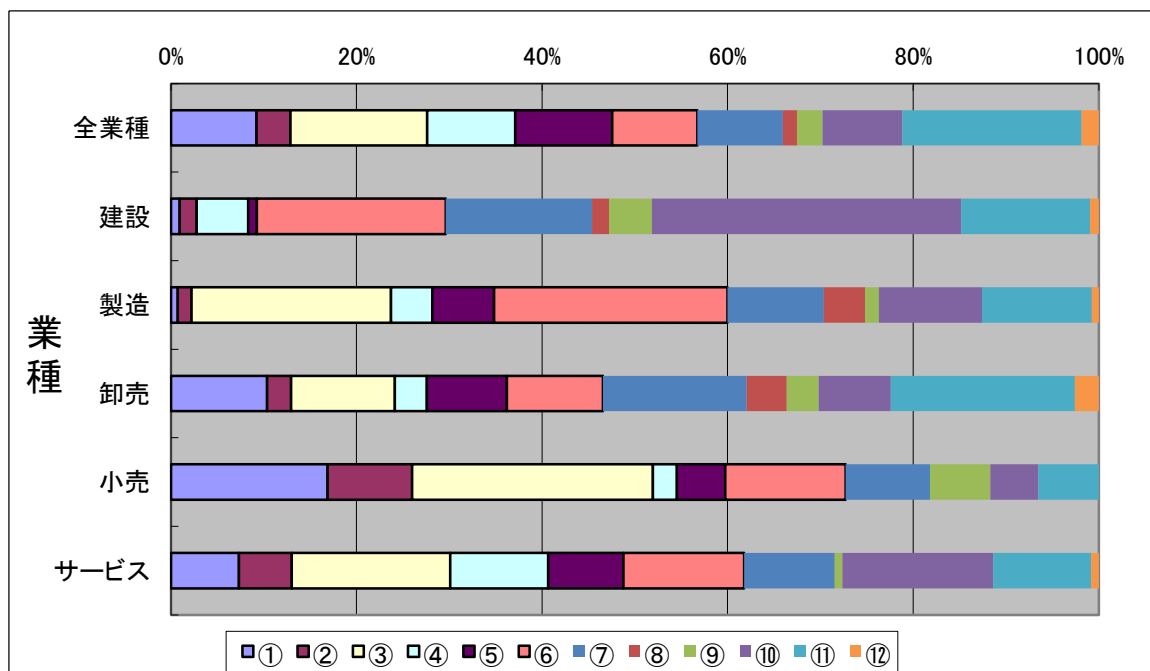
### 賃金DI値推移表



今期(H25. 10~12)の久留米市地場企業景況調査で「賃金面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は62社、「減少した」と回答した企業は20社、「横ばいである」と答えた企業は126社であった。DI値は20. 2となった。

業種別のDI値では、建設業35. 9、製造業13. 2、卸売業20. 5、小売業3. 7、サービス業24. 4となった。

来期(H26. 1~3)の見通しでは、全業種DI値は14. 6となる見込み。業種別に見ると、建設業34. 2、製造業5. 7、卸売業13. 6、小売業3. 7、サービス業15. 9となる見込み。



①大企業の進出による競争の激化 ②同業者の進出 ③消費者ニーズへの対応 ④人件費の増加 ⑤人件費以外の経費の増加 ⑥仕入単価の上昇 ⑦販売価格の低下 ⑧金利負担の増加 ⑨事業資金の借入難 ⑩従業員の確保難 ⑪需要の停滞 ⑫その他  
 今期(H25. 10～12)の経営上の悩みとしては、「需要の停滞(19. 3%)」「販売単価の低下・上昇難(18. 4%)」を指摘する声が多く寄せられている。  
 「需要の停滞」の各業種の内訳は建設業(13. 9%)、製造業(11. 9%)、卸売業(19. 8%)、小売業(6. 3%)サービス業(10. 6%)。

#### <事業所から寄せられた主なコメント>

##### 【建設業】

「人手不足により人材確保が難しい」(一般土木建築工事業)  
 「発注工事は増加傾向だが職人が不足しており受注する事が厳しい」(電気工事業)  
 「従業員や下請け業者の高齢化が進んでおり若い従業員確保が急務」(管工事業)

##### 【製造業】

「エネルギーコストが上昇しており経営を圧迫している」(電線・ケーブル製造業)  
 「顧客が減少傾向にある」(一般産業用機械・装置製造業)

##### 【卸売業】

「消費増税に伴う需要停滞の懸念」(産業機械器具卸売業)  
 「円安により仕入れ価格上昇している」(食料・飲料卸売業)  
 「地方ではまだまだ需要が停滞していると感じる」(貴金属・宝石卸売業)

##### 【小売業】

「新聞を読む人が減り売上が減少傾向にある」(新聞販売店)  
 「同業者間の競争激化で利益が減少している」(燃料小売業)  
 「消費増税後の需要停滞の懸念」(医薬品・化粧品小売業)

##### 【サービス業】

「夜の乗客が減少傾向にある」(一般乗用旅客自動車運送業)  
 「消費増税後の需要停滞が懸念される」(ソフトウェア業)  
 「都市部と比べ地方では景気はまだまだ厳しいと感じる」(有料駐車場業)